

ツーバルブシャワー混合栓

SK11-LH-13・SK11F-LH-13・SK11T2-W-13・SK21-LH-13・SK110-LH-13
 (寒冷地用 …… SK11K-LH-13・SK11FK-LH-13・SK11T2K-W-13・SK21K-LH-13・SK110K-LH-13)

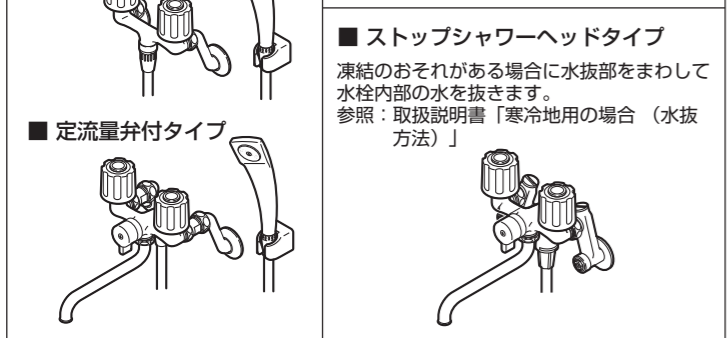
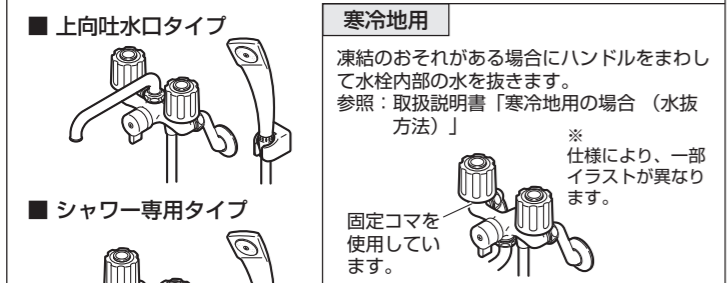
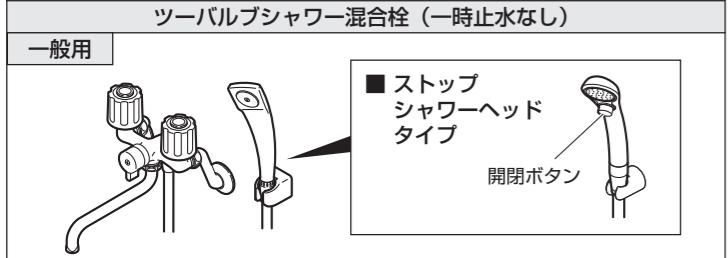
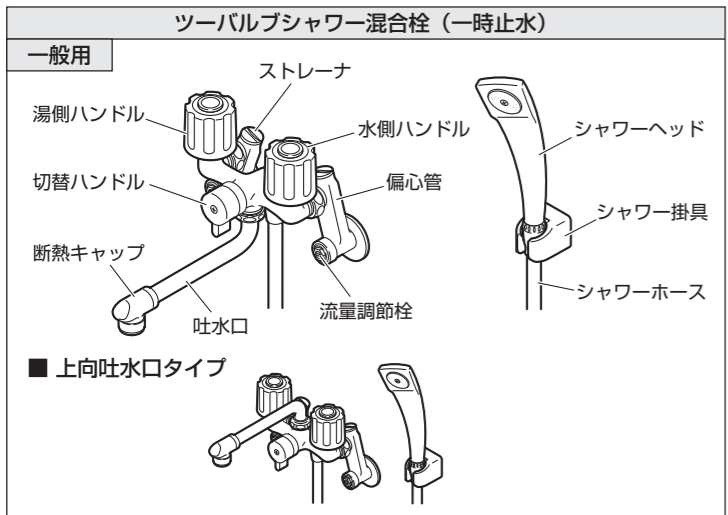
ツーバルブシャワー混合栓 (一時止水)

SK1104D-LH-13・SK2104D-LH-13
 (寒冷地用 …… SK1104DK-LH-13・SK2104DK-LH-13)

施工説明書

- 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。
- いすれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ ……「注意しない!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

🚫 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

👉 「指示通りにしない!」(一般的な行動指示記号です。)

🔪 「分解してはいけません!」

注意

- 🚫 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 (ストレーナ付の場合) ストレナーの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめず、流量調節栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 湯水を逆に配管しないでください。正常に作動しないため、やけどをすることがあります。なお、逆配管の場合は逆配管アダプター(別売)を使用する事で、逆配管でも表示通りに湯水を使用することができます。
- 🚫 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 (寒冷地用の場合) 凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 (水抜部がある場合) 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に急湯温が上昇することがあります。やけどのおそれがありますので、やけどのおそれがないところまで水圧変動を抑えた配管設備にしてください。

施工について 適切な使用条件

(水圧について)

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

(給湯機について)

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。

(水質・用途について)

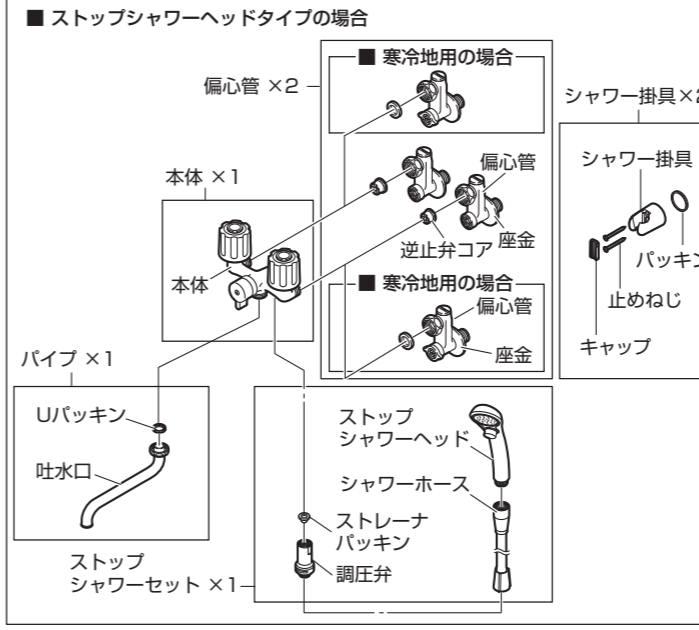
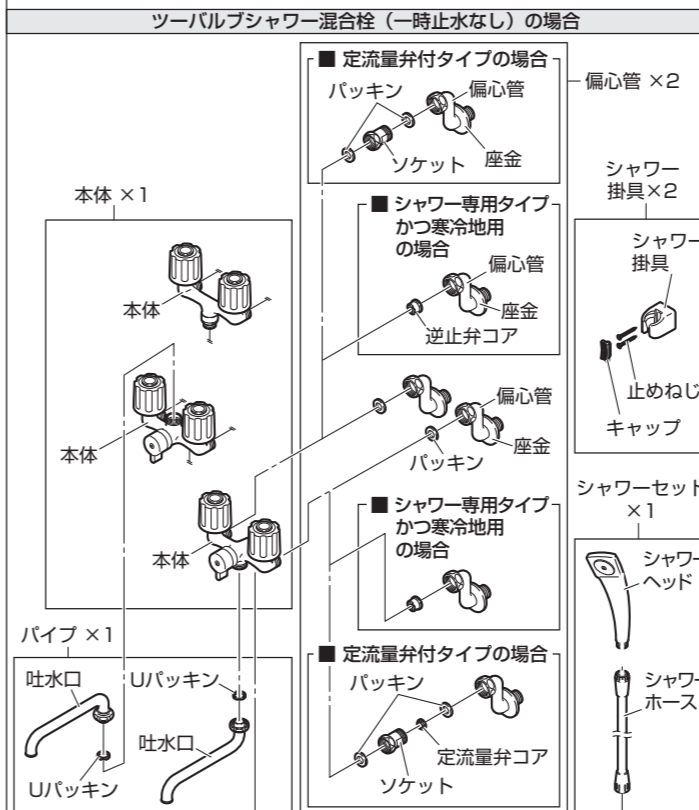
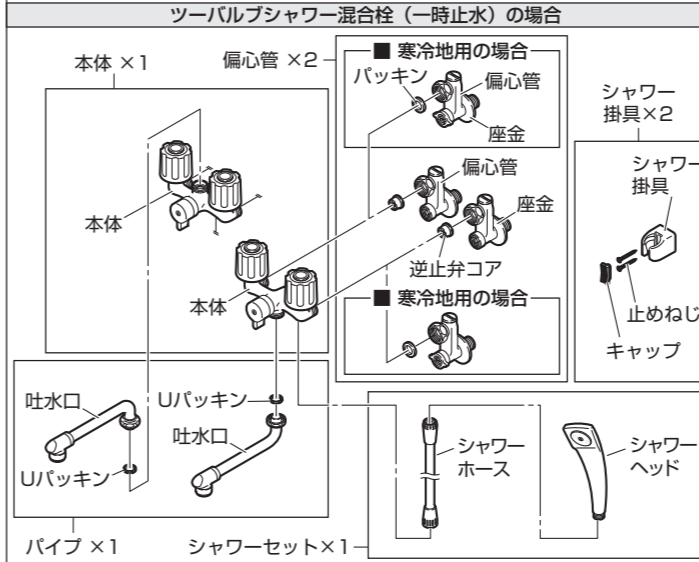
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	用途	一般住宅用
--------	---------------	----	-------

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

- 本書(施工・取扱説明書「保証書付」)×各1
- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。



施工について 施工手順

主な工具類

- シールテープ: 水栓の偏心管を配管に取付ける際に必要です。SAN-EI品番: PP75-1S(シールテープ)
- 使い古しのハブラシなど: 配管掃除ができるもの。
- タオルなど: ケガ防止や水栓保護のために使用します。
- スパナ・モンキーレンチなど: 水栓のナットが回せる工具。SAN-EI品番: PR3351(水栓スパナ)
- 手袋: ケガ防止のために着用してください。
- ぞうきんなど: 配管中の残り水を拭くのに使用します。
- 元栓がキー式の場合に必要な工具
- 止水栓キー: SAN-EI品番: PR30A(止水栓キー)
- シャワー掛具を取付ける場合に必要な工具
- プラスドライバー
- 電動ドリル

1 配管内の掃除をします。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。(元栓の開閉は下記を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、この場合には有償修理となります。

- 元栓を閉めて、水を止める方法
 - 元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。
 - *元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
 - *閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
 - *一部の地域では左回しの場合があります。
 - *元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

- 戸建て住宅などの元栓ボックス:
 - キー式: 止水栓キー SAN-EI品番: PR30A(止水栓キー)
 - ハンドル式: 水道メーター(量水器)
- マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス:
 - 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。
 - お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

逆配管の場合

通常の配管は向かって左側が湯、右側が水ですが、逆配管は向かって左側が水、右側が湯になっています。このような場合には正常に作動しません。下記の方法を行って、逆配管でも使用できるようにしてください。

- 逆配管アダプター(別売)による対応
 - 逆配管アダプターを使用する事によって、逆配管を通常の配管にします。
 - *取付方法については逆配管アダプターの説明書をお読みください。

2 偏心管の取付回転を確認します。

偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回数を確認します。

アドバイス

取付回転数は後で偏心管を仮固定する際の目安にします。

MEMO

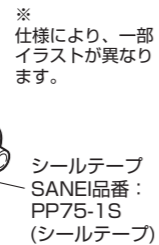
湯側 / 水側

回転 / 回転

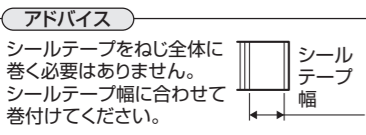
※「ハ」の字になるように

3 偏心管にシールテープを巻きます。

ねじに向かって右向きに、10回程度少し引張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。



※仕様により、一部イラストが異なります。



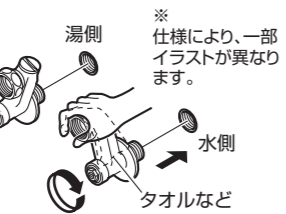
シールテープ SANEI品番：PP75-1S (シールテープ)

注意

シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

4 偏心管を仮固定します。

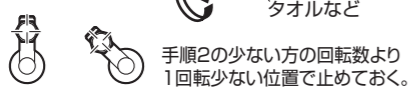
偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右に回して入れます。手順2で確認した偏心管の少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともに回して止めておきます。



※仕様により、一部イラストが異なります。

アドバイス

右記のように偏心管を少し手前で止めておくことで、ねじ込みすぎを防止します。



注意

漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、手順3をもう一度はじめてから行ってください。

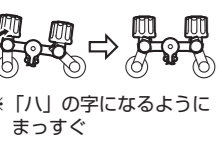
5 水栓本体を取付けます。

(1) 水栓本体と偏心管の間に、逆止弁コア (またはバックン) が入っている事を確認し、水栓本体がまっすぐになるように偏心管を調節しながら手でナットを締付けていきます。

注意

- 漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、手順3をもう一度はじめてから行ってください。
- 逆止弁コア (またはバックン) が入っていることを確認してください。逆止弁コア (またはバックン) が入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 偏心管にバックンが残っている場合は、逆止弁コアに正しく組付けてください。

●水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。

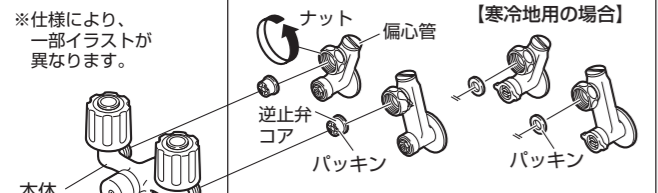


注意

偏心管の水抜部が本体よりも上になると、寒冷地用の場合水抜きできませんので必ず下になるように取付けてください。

■定流量弁付タイプの場合 については、右段上をご覧ください。

- 一時止水タイプ
- ストップシャワーヘッドタイプの場合



※仕様により、一部イラストが異なります。



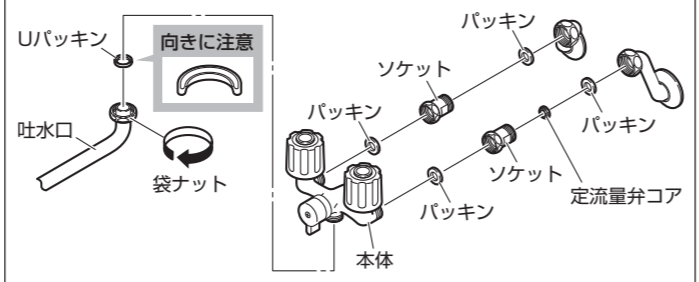
一時止水なしタイプの場合



シャワー専用タイプかつ寒冷地用の場合



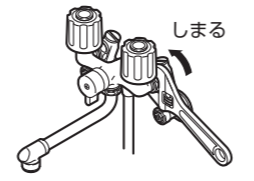
■定流量弁付タイプの場合



(2) モンキーレンチなどでナットをしっかりと締付け、水栓を偏心管に固定します。

注意

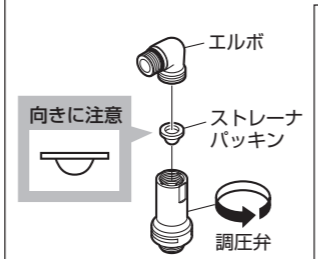
ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。



(3) エルボにシャワーヘッド・シャワーホースを取付けます。

■ストップシャワーヘッドタイプの場合

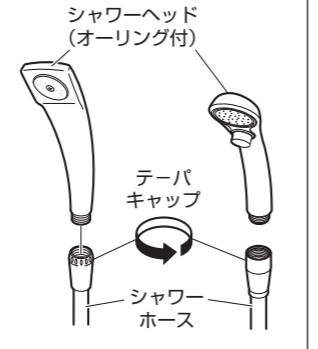
エルボに調圧弁を取付けてください。



注意

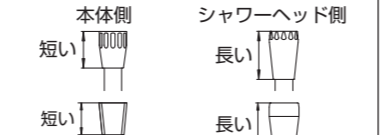
- ホース破損のおそれがありますので、調圧弁を取付けてください。ただし、使用水圧が0.3MPa未満で十分な吐水量が得られない場合は、調圧弁ははずすことも可能です。
- 調圧弁は手で強くねじ込んでください。
- ストレーナバックンが入っていることを確認してください。ストレーナバックンが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナバックンの向きに注意してください。

■ストップシャワーヘッドタイプの場合



注意

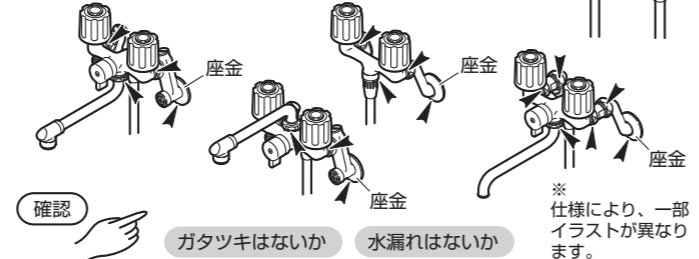
- シャワーヘッド・テーパーキャップ・袋ナットは手でまっすぐにねじ込んでください。工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- 袋ナットにバックンが入っていることを確認してください。
- 袋ナット・テーパーキャップを間違えないでください。短い方が袋ナット (本体側) です。



- シャワーホースは偏心管の下から取出してください。寒冷地用の場合は上から出すと水抜きができなくなります。

6 ガタツキ・水漏れチェックをします。

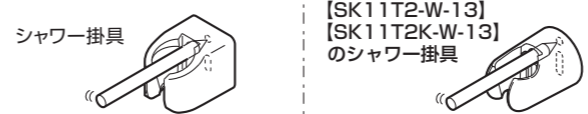
接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめてやり直してください。最後に座金を壁面に締付けて完了です。



※仕様により、一部イラストが異なります。

7 シャワー掛具を取付けます。

(1) シャワー掛具の位置を決め、ねじ取付位置に印を付けます。



【SK11T2-W-13】
【SK11T2K-W-13】
のシャワー掛具

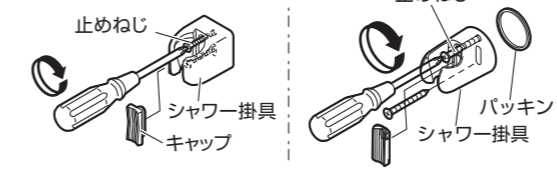
(2) 印を付けた位置に電動ドリルなどで穴を開けます。(コンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルを使用します。) 手順(3)のアンカープラグ (市販) に適合するドリル径で開けてください。

推奨取付ピッチ20mm (17~25mmの範囲で調整できます。) 電動ドリル
推奨取付ピッチ20mm (11~23mmの範囲で調整できます。)

(3) 電動ドリルなどで開けた穴にアンカープラグ (市販) を差し込みます。

当社の止めねじ4.5×45に対応するアンカープラグを使用してください。 当社の止めねじ4.5×35に対応するアンカープラグを使用してください。

(4) シャワー掛具を止めねじでしっかりと固定します。最後に穴をキャップでふさぎます。



注意

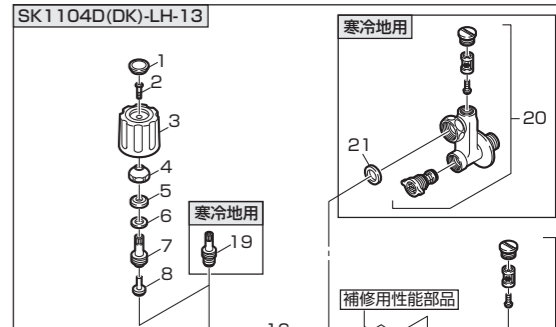
シャワー掛具の向きに注意してください。止めねじ穴の長い方が下です。



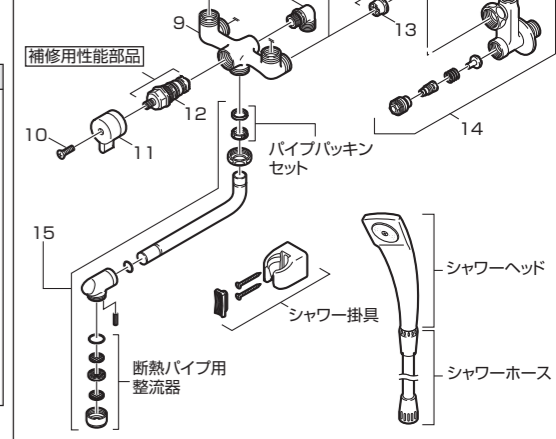
こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

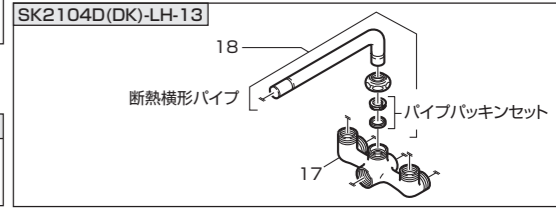
<p>SK11-LH-13</p> <p>一般用</p> <ol style="list-style-type: none"> キャップ なべ小ねじ ハンドル バックン押え 三角バックン バックン受 スピンドル ケレップ 胴 レバー止めビス 切替ハンドル シャワー切替部 偏心管 吐水口 逆止弁付エルボ 	<p>SK11(K)-LH-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> キャップ なべ小ねじ ハンドル バックン押え 三角バックン バックン受 スピンドル ケレップ 胴 レバー止めビス 切替ハンドル シャワー切替部 偏心管 吐水口 逆止弁付エルボ 自在パイプ
<p>SK11F-LH-13</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン ソケット 定流量弁コア 	<p>SK11F(FK)-LH-13</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン 逆止弁付接続金具
<p>SK11K-LH-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 固定スピンドル エルボ 	<p>SK21(K)-LH-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 吐水口
<p>SK110(LH)-13</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン 逆止弁付接続金具 	<p>SK110(K)-LH-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン 逆止弁付接続金具
<p>SK111F-LH-13</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 吐水口 	<p>SK110K(LH)-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン 逆止弁付接続金具
<p>SK111K-LH-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 接続金具 逆止弁コア 偏心管 	<p>SK110K(LH)-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン 逆止弁付接続金具
<p>SK110K(LH)-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン 逆止弁付接続金具 	<p>SK110K(LH)-13</p> <p>寒冷地用</p> <ol style="list-style-type: none"> 胴 バックン 逆止弁付接続金具



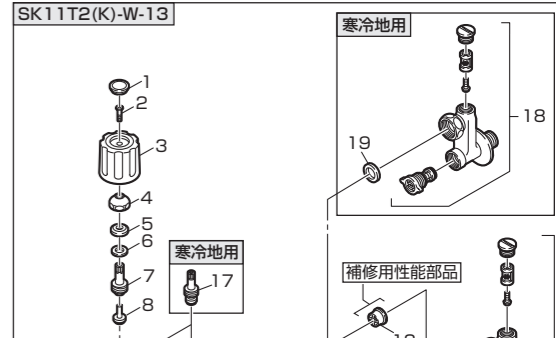
- SK1104D-LH-13
- 一般用
- キャップ
 - なべ小ねじ
 - ハンドル
 - バックン押え
 - 三角バックン
 - バックン受
 - スピンドル
 - ケレップ
 - 胴
 - レバー止めビス
 - 切替ハンドル
 - 一時止水切替部
 - 逆止弁コア
 - 偏心管
 - 吐水口
 - エルボ



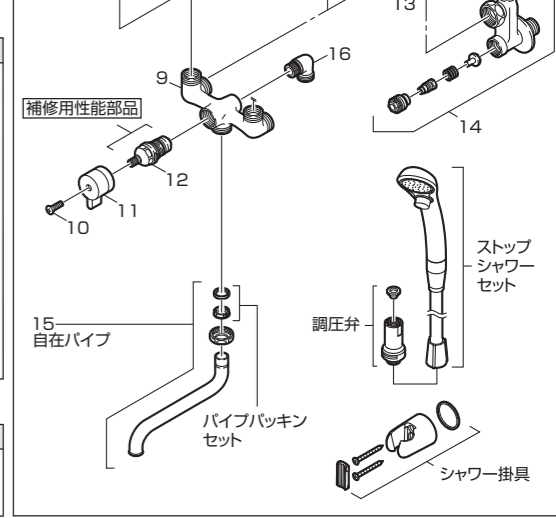
- SK2104D-LH-13
- 胴
 - 吐水口



- SK1104DK-LH-13
- SK2104DK-LH-13
- 寒冷地用
- 固定スピンドル
 - 偏心管
 - バックン



- SK11T2-W-13
- 一般用
- キャップ
 - なべ小ねじ
 - ハンドル
 - バックン押え
 - 三角バックン
 - バックン受
 - スピンドル
 - ケレップ
 - 胴
 - レバー止めビス
 - 切替ハンドル
 - シャワー切替部
 - 逆止弁コア
 - 偏心管
 - エルボ



- SK11T2K-W-13
- 寒冷地用
- 固定スピンドル
 - バックン
 - 偏心管

ツーバルブシャワー混合栓

…………… SK11-LH-13・SK11F-LH-13・SK11T2-W-13・SK21-LH-13・SK110-LH-13
 (寒冷地用 …… SK11K-LH-13・SK11FK-LH-13・SK11T2K-W-13・SK21K-LH-13・SK110K-LH-13)

ツーバルブシャワー混合栓 (一時止水)

…………… SK1104D-LH-13・SK2104D-LH-13
 (寒冷地用 …… SK1104DK-LH-13・SK2104DK-LH-13)

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ (お取付け) 年月日、販売店 (工事店) 名の記入のない場合はお買上げ (お取付け) の販売店 (工事店) に申し出てくださいか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

- 各部の名称については、施工説明書「各部の名称」を参照ください。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果 (傷害・物損) に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明	
警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」	
注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」	
⚠ …… 「注意しなさい!」 (上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)	
🚫 「してはいけません!」 (一般的な禁止記号です。)	👉 「指示した場所に触れてはいけません!」
🚫 「分解してはいけません!」	👉 「指示通りにしなさい!」 (一般的な行動指示記号です。)

警告

🚫 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。

注意

❗ 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。

❗ (ストレーナ付の場合) ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめず、流量調節栓または元栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫 ●水栓の左側には直接肌を触れないでください。給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。
 ●高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。

❗ (給湯器の設定温度について) 給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。

注意

🚫 シャワーには高温の湯 (60℃以上) を通さないでください。給湯温度が60℃以上の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。シャワーヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温でのご使用をおすすめします。

❗ 湯を使用する時は水側ハンドルから開いてください。その後、徐々に湯側ハンドルを開き、温度および吐水量を調節してください。次に使用する際、湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

❗ 湯を止める時は、必ず湯側のハンドルから閉めてください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

❗ 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

❗ ハンドルは、ゆっくり回してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。

❗ シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

❗ (切替ハンドル付の場合) お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。間違えると、やけどをするおそれがあります。

🚫 (ストップシャワーヘッドタイプの場合) ホース内部に圧力がかかるのを防ぐため、水栓の湯側・水側ハンドルを操作する場合は、ストップシャワーヘッドの開閉ボタンを開閉してからおこなってください。

❗ (吐水口付の場合) 日頃から、ときどき吐水口を回してください。吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れの原因になります。

🚫 (吐水口付の場合) 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。

🚫 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ (寒冷地用の場合) 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫 (水抜き部がある場合) 水抜き部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜き部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫 シャワーホースやシャワーヘッドを洗面器などに浸けたまま放置しないでください。汚水が器具に逆流するおそれがあります。

❗ 長期間使用しない時は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。

🚫 (樹脂メッキ付部品の場合) 樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。
 ●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす
 ●メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】
 ・シャワーヘッド
 ・ハンドル、レバー
 ・シャワー掛具
 ・整流器 など

ご使用について 吐水・止水・温度調節

湯を使用する時は水側ハンドルを開いてから徐々に湯側ハンドルを開き、温度および吐水量を調節してください。

湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

使用後
 必ず湯側のハンドルから閉めてください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

高温の湯が出ないときは?
 湯側ハンドルをまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機 (給湯リモコンなど) の給湯温度を42~60℃に設定した後、水栓側の湯側ハンドルをまわしてください。

注意
 高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとハンドルで適温に戻してしばらく水を流してください。

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のハンドルを全開に (吐水量を多く) するか、給湯機の温度設定を下げてください。

ご使用について シャワー側への切替え

切替ハンドルを右にまわす → 吐水口
 切替ハンドルを左にまわす → シャワー

一時止水タイプの場合
 切替ハンドルを右にまわす → 吐水口
 切替ハンドルを左にまわす → シャワー
 中央 → 一時止水
 一度調節した温度の湯が一時止水できます。

注意
 一時止水以外は、必ず切替ハンドルを吐水口側にして、湯側・水側ハンドルで止めてください。

注意
 ●シャワー使用後は、切替ハンドルを必ず吐水口側に切替えてください。切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かずに湯を出すと、やけどをするおそれがあります。
 ●一時止水以外は、必ず切替ハンドルを吐水口側にして、湯側・水側ハンドルで止水してください。
 ●切替ハンドルは全開でご使用ください。
 ●流量を調節する場合は、ハンドル側で調節してください。

注意
 止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。

いつもポタポタ出ているのはハンドルの閉め方がゆるいか水栓の一時止水切替ユニットが故障しているかのどちらかです。しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動や浴室ドアの開け閉めによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出る場合があります。
 ※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

ご使用について ストップシャワーヘッドの使用 (ストップシャワーヘッドタイプの場合)

一度調節した温度の湯がシャワーヘッド側で一時止水できます。

■ シャワー ■ ストップ

開閉ボタン 開閉ボタン 開閉ボタン

注意
 ホース内部に圧力がかかるのを防ぐため、使用後は必ず、ストップシャワーヘッドの開閉ボタンを開閉にして、水栓の切替ハンドルで止水してください。

ご使用について 流量調節 (流量調節栓付の場合)

ドライバーで回す事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。

一般用
 流量調節栓
 流量が少なくなる
 流量が多くなる
 マイナスドライバーなど

寒冷地用・ストップシャワーヘッドタイプの場合
 おさえる
 流量調節栓
 水抜き本体
 流量が少なくなる
 流量が多くなる
 マイナスドライバーなど

注意
 水抜き本体がまわらないように、水抜き本体をもって流量調節栓をまわしてください。水抜き本体がはずれると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害のおそれがあります。

凍結予防について 一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

●水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
 ●配管部などに保温材を巻いてください。
 ●室内の窓を開めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を開めるなど
 少量の水を出すなど

凍結予防について 寒冷地用の場合 (水抜き方法)

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備 (水抜き栓) とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 元栓を閉め、配管の水抜き栓を開けます。
- 湯側・水側ハンドルをいっぱいに開きます。
- 切替ハンドルを吐水口側へまわします。
- 水抜き本体をすべてゆるめます。
- 切替ハンドルをシャワー側へまわします。
- シャワーヘッドを器具より下に下げ、シャワーヘッドとホースを振って水を抜き、床に置きます。

■ 水抜き本体がない場合
 1・2・3・5・6 の手順で行ってください。

■ シャワー専用タイプの場合
 1・2・6 の手順で行ってください。

2 湯側ハンドル
 2 水側ハンドル
 3 切替ハンドル
 4 水抜き本体
 6 シャワーヘッド
 6 ストップシャワーヘッド

よく振って水を抜く
 よく振って水を抜く
 開閉ボタンを開 (吐水) にする

注意
 水抜き部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。

再使用時
 ●すべての水抜き本体が確実に閉まっているか確認してください。
 ●湯側・水側ハンドルを閉めて配管の水抜き栓を閉め、元栓を開けます。
 ●ストレーナ付の場合、水抜きをしても網に付着した水滴が凍り、吐水しない事があります。その場合は、ぬるま湯をかけて温めてください。

